

県民の友

南紀熊野体験博

リゾートピアわかやま'99

開催期間／平成11年4月29日(祝)▶9月19日(日)

発行 和歌山県知事公室 広報広聴課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 ☎0734 (32) 4111

元気宣言に関連して、県では今年、次の施策を実施します。

産業が元気

- (1) きのくにベンチャーランド(仮称)
地域の人材・技術など産業資源を活用した新事業創出の研究開発から事業化まで一貫した総合的産業支援体制づくりに取り組みます。

- (2) 都市型高度複合施設整備
(医大跡地利用)
「集客」「宿泊」「国際会議」「地域文化支援」「駐車場」の5つの機能、民間活力の導入といった提言を踏まえ、事業の具体化に向けての取り組みを進めます。

- ### (3) 南紀熊野市場の設置
- 南紀熊野体験博の開催期間中、田辺新庄・那智勝浦の両シンボルパーク内に設置し、本県の特徴ある地場産品の販売、宣伝を行います。

人が元気

- (1) 白浜エアポートサテパーク
南紀白浜空港周遊地へ日本で初めての航空工大学の4年制本科大学と航空科学館として施設を進めます。
- (2) 県立白浜病院附属病院移転整備・
五枝病院の整備
紀三井寺に移転する新病院の外装検査は5月13日から開始します。(現病院の外装検査は4月23日まで)
県立五枝病院(古賀町)の病棟整備に平成11年度着工します。(工期は1年予定)
- (3) 南紀福祉センター(療養部)整備
上田町にある本施設を全面改築し、紀南地方における障害児者福祉の核となる施設にします
(定員60名)
- (4) 楢本体育館
今年9月、楢本運動公園内に完成します。県立体育館の17割の広さを有し、楢本と津田町の市内スポーツ、文化活動の拠点として利用いただける予定です。

自然と文化が元気

- (先) 環境安全率先行動の推進
先に制定した環境基本計画に基づき、環境施設等の計画と基本となる「環境基本計画」を平成18年度以内で策定します。また、全国的な環境安全フォーラムの立ち上げを先頭に実施し、環境管理の国際基準「ISO14001」の認証取得についての研究や公用車へのエコドライブ導入を進めます。
- (先) 第10回緑の少年団全国集会
今年の夏休み、全国の緑の少年団の皆さんが本県に集まります。
- 記念式典は7月27日田辺市で、交流集会は7月27～29日の3日間本県で開催されます。
- (先) 地域広域統括型フェスティバルの開催
南紀熊野観光のイメージアップのため、5月21～23日の3日間田辺市と白浜町で全国有数の観光地である熊野灘を舞台に開催されます。

これら一つ一つの元気を重ね合わせることによって大きな
うねりとして故郷を元気にしてまいります。
困難な時代にあって和歌山県の真価が問われています。
今こそ、県民一人ひとりが心を一つにして、明るい和歌山
元気な和歌山を取り戻し、夢と希望を持って新時代を迎えたい
と思います。

造りたいと強く願ったと思います
 本宣言では、「産業が元氣」「人が元氣」「自然と文化が元氣」の3要素を基本とし、これら3要素を包括し心も元氣にさせる南紀熊野体験博の開催で、明る元気な和歌山県を内外に発信します。



先人が守り、育て、築いてこられた故郷和歌山の輝かしい歴史・文化、自然、それと進取の気性に富んだ精神風土を生かし、胸を張って和歌山県の新時代を創るを宣言いたします。

わかやま元氣宣言
平成11年の新年に当たり、心も新たに
県民の皆さんとともに元氣を出して素晴
らしい和歌山の故郷づくりを進めること

明るい未来の
幕開け



主な記事

2面 県議会だより／新しい行政改革大綱
3面 拝啓 県民のみなさまへ
海外県人会だより
県和問題の早期解決に向けて

4～5面 南紀熊野体験博ニュース
6～7面 女性学ミニ講座③／お知らせ
県職員の給与等の現況

8面 わかやま北南ニュース
大島架橋橋名募集
南紀熊野体験博写真展

古紙配合率80%再生紙を使用しています。

県議会だより 12月定例会の概要

平成10年度県一般会計補正予算、
県立養護学校設置条例の一部を
改正する条例などの案件を可決



県議会12月定例会は、12月1日から12月17日までの17日間にわたって開催されました。国の緊急経済対策を早期に実施に移すための200億円を超える「県一般会計補正予算」、紀三井寺公園に登山競技場を新設する「県都市公園条例の一部を改正する条例」や和歌山市に本年4月開校予定の紀伊コスモス養護学校設置の「県立養護学校設置条例の一部を改正する条例」など条例案件、財産の取得や工事請負契約案件などの議案28件と知事専決処分報告1件が提案されましたが、「平成9年度県歳入歳出決算の認定」が閉会中の継続審査となったほかは、いずれも原案どおり可決承認されました。

また、継続審査中の平成9年度公営企業決算は認定されました。

請願については1件が採択、14件は継続審査となりました。このほか、「介護保険法の円滑な実施と介護サービスの充実強化を求める意見書」、「地方事務官制度の廃止に関する意見書」の2件が可決され、関係機関に送付されました。

質疑及び一般質問には10人の議員が登壇し、県政各般にわたる諸問題について活発な論議が展開されました。

主な質疑及び一般質問項目と、これに対する知事や関係当局の答弁の要旨は次のとおりです。(要約抜すい)

の手續が完了した時期を目途に、和歌山市とも連携し、公署防協定の改定を行っていききたい。

和歌山下津港港湾計画の修正は

十一月二十八日に第三回景観検討委員会が開催され、最大限の景観保全に配慮した案について議論いただいた。港湾整備は、輸送コストの低減、県内企業の市場競争力の向上、流通産業の集積をはじめとする産業立地の促進、地元雇用機会の増大など県経済活性化のためにも重要なものである。

一方、すばらしい自然・古い歴史文化を大切にしながら、地域の活性化の整備は必要であり、今回の案は評価いただけるものと考えているが、地元の方々、関係者の方々の理解を得よう努力していききたい。

学習指導要領改訂についての評価は

完全学校週五日制のもと、ゆとりの中で特色のある教育を展開し、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことをねらいとしている。

今回の改訂では、授業の時間数を減らすとともに教科内容を厳選し、「総合的な学習の時間」、選択幅の拡大など、各学校が創意工夫した教育を推進するようになっている。

さらに、子どもたちが、基礎的・基本的な内容をじっくり学び、個性や興味・関心等に応じた体験的・問題解決的な学習に取り組むことを重視しており、これからの教育にとって、意義あるものと受けとめている。

ゴールドプラン十力年計画の進捗は

在宅サービスは、ショートステイで百二十一・四％、老人訪問看護ステーションで百二十％と既に計画目標を超えているが、ホームヘルパーで六十二・五％、デイサービスセンターで七十・四％、在宅介護支援センターで六十一・七％と目標に至っていない。施設サービスについては、特別養護老人ホームで百十七・八％、老人保健施設で八十七・九％である。平成十一年度の目標達成に向けホー

ムヘルパーの養成など、市町村と力を合わせ人材確保に努力していく。

このほか、次のような質問がありました。(抜すい)

- ▼国道四十二号海南～有田間の渋滞対策
- ▼地場産業と廃棄物処理
- ▼南紀熊野体験博のPR活動等
- ▼介護保険の市町村準備状況と県の支援策
- ▼感染症対策新法に伴う医療機関の指定
- ▼バカンス法の制定
- ▼消費税問題
- ▼不況対策
- ▼梅の生育不良

新しい行政
改革大綱を
策定

県では、平成7年に行政改革大綱を策定し、意欲と行動力あふれる「たくましい県庁」づくりを進めてきましたが、最近の社会経済情勢の変化に対応した、新たな視点を加えて、新しい「行政改革大綱」を策定しました。

この大綱に基づき、平成11年度から15年度までの5年間をかけて、県が行う仕事の範囲、やり方や体制の見直しを行い、職員数の削減などに取り組むことにより、「県民のための県政」を担う意欲と、果敢に未来に挑戦するたくましさを持った県庁づくりをめざして改革を進めていきます。

行政改革の実施状況については、順次公表する予定です。

くわしくは県庁人事課へ。

十一年度予算編成と財政健全化は

景気低迷による税収の落ち込みや累次の経済対策による公債費の増大等により、近年、地方財政は著しい収支不均衡に陥っている。

大都市圏と財政危機の要因に若干の相違はあるが、本県も公債費が急激に増大しており、財政危機に陥るのではないかと危機感を強めている。十一年度予算編成については、基金を最大限活用し、県政の優先課題を選択して、予算の合理化・効率化と思い切った重点化を図っていく。

十二年度以降は、基金の枯渇により大幅な歳出削減が不可欠で、あらゆる経費の見直しと、コスト意識の徹底を図り、行財政改革の具体的な姿を描いていきたい。

新農業基本法に対する本県の期待は

内閣総理大臣の諮問機関「食料・農業・農村基本問題調査会」の最終答申で、中山間地域の維持・保全が新しい視点として取り上げられたことは、中山間地域が大半を占める本県にとっては意義深いものである。

本県の地域農業の主力である果樹・野菜・花き等の生産振興を図る上で、単にカロリーベースでの自給率設定にとどまらず、園芸作物の振

興にも配慮されるよう国に要望したところであり、環境と調和した収益性の高い農業の推進に一層努めたい。

橋本の産業廃棄物に係る
ダイオキシン等の調査結果は

八月二十八日の調査結果では、最高千七百ピコグラムが検出されたが、環境庁の暫定ガイドラインでは居住等日常生活を行っている場所での千ピコグラムで、事業場の調査結果に対する評価は現時点では判断できない。

県としては、生活環境保全上の観点から国と協議し、本年十月に設置した「県産業廃棄物処理に係る技術アドバイザー会議」を中心に専門家による検討委員会を設置し、今月中にも第一回目の会合を開く予定である。

検討内容は、「濃度分布を把握するための再調査の実施」、「土壌汚染に伴う健康影響の考え方」、「対策の必要性と内容」の三つのテーマを予定している。また、水質検査についても基準を下回っているが、今後、年四回三カ月ごとに実施していく。

中小企業に対する金融対策は

市町村長が認定する特別保証制度の認定件数は、十一月末現在千件を超えていることから、依然とし

て金融機関の厳しい融資姿勢が続いており、中小企業の資金調達は厳しくなっている。

県としても支障が出ないよう「不況対策特別資金」制度を創設し、これまで二度の補正予算により、融資枠を二百億円に拡大し取り組んできたが、年末に向け中小企業者の資金需要に対応するため、さらに二百億円拡大し、融資枠を四百億円とした。県内各金融機関に対しても、資金需要に積極的に対応するよう働きかけていきたい。

紀伊水産水産物の積極的なPRは

加太のマダイ、戸坂のハモ、有田地方のシラス干しなどは、既にブランド商品として高く評価されているが、生産者をはじめ関係者の長年の努力によるものである。

全国一の生産量を誇る真島産のタチウオや本県産イセエビなどPRが重要で、水産物の消費拡大のため、魚食普及キャンペーンや紀州産魚貝類の販売促進等、県漁連等関係機関と連携し、紀伊水道の魚貝類のおいしさ・新鮮さを積極的にPRしていきたい。

串本の大島架橋と島内開発は

大島架橋が開通すると島内の交通量が増え、特に県道樫野串本線の終点付近で混雑が予想されるので、大型バス等の回送場を兼ねた駐車場を開通までに県と町で整備する。

振興策としては、恵まれた自然環境や貴重な歴史文化資源を最大限に生かした施策を推進することにより、島全体をリゾート空間とする「紀伊大島開発」構想が計画されており、県としても島内産業の活性化や観光・リゾート振興の地域整備に對し可能な限りの支援を行っていく。

住金との新たな環境保全協定は

LNG発電所の環境保全協定は、平成九年五月の環境影響調査書の審査の際、県として協定締結を求め、準備工事を工までに締結することとしており、和歌山市と連携を図りながら事業者と協議をしていきたい。

また、住金との公害防止協定の改定については、LNG発電所の審査の際、既存の製鉄所とあわせて「西防波堤埋立土地利用計画に関する総合環境アセスメント」の審査と平行して行っている。

この内容を基本に、公有水面埋立

上海和歌山県人会 誕生

この度、上海進出県内企業の方、県とゆかりのある方が集まり、上海和歌山県人会(会員数26人)が誕生いたしました。アジアでは、香港和歌山県人会に続き2番目です。

上海市及びその周辺は、中国における経済発展の度合いとともに、県内企業の出発点として注目を集めています。昨年、香港駐在員事務所、上海進出県内企業懇談会を開催したところ、県出身の方々から、今後のネットワーキングを広げていくと、



県では今後このような活動に香港駐在員事務所でも積極的に参加していただいております。

上海

拝啓 県民のみなさまへ

新しい年も早一ヶ月が過ぎました。いニユースの多かった昨年から、今年は気を切りかえ、新しい和歌山創造の幕を開けなければなりません。

本紙一面に掲載した「わかやま元氣宣言」に、「こゝにだけあったか。二十一世紀も開近にせまった平成十一年が、和歌山の明るい未来の幕開けを告げる年になれば」との思いから、宣言させていたされた。産業、人、「自然と文化」それぞれの元氣と「南紀自然体験」の開催、そして県民の皆さんひとりの元氣が故郷を元気にします。

平成十一年度の県予算編成でも、非常に厳しい財政状況の中、「元氣予算」の別枠を設け、元氣を出していただける事業の創出に努めています。元氣宣言を実のものにしていく必要があります。

和歌山の「根っこ」は、元氣の芽を出す土壌が育まれている。ま、元氣を出しては、元氣を空に放り、青空のなかで、明るく元氣な和歌山を育てていきたいと思います。

そして、すばらしい和歌山の良さを、内外にアピールしましょう。



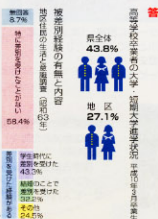
新春記者会見にて

和歌山県 西口勇

同和問題の早期解決に向けて

これまで、県民協賛による「県民みんなの同和講座」を開催してきた結果、同和問題解消への明るい展望が見えてきました。しかし、まだ差別意識の根絶ができていない。差別意識の根絶ができていない。差別意識の根絶ができていない。

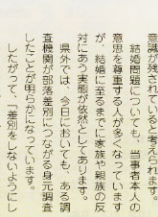
同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。



同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。

「差別はしないようにしたい」、「差別はしないようにしたい」という意見は、広まっています。差別はしないようにしたい、差別はしないようにしたい、差別はしないようにしたい。

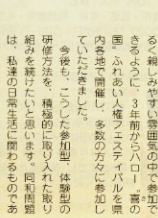
同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。



同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。

同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。

同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。



同和問題はよく解らないという人もいます。本紙に載せては、昭和44年の「同和対策特別法の施行による、約30年間の同和問題の進展の歴史を、県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。県民一人ひとりに知ってもらいたい。

南紀熊野体験博 ニュース

開催期間：平成11年4月29日(祝)～9月19日(日)
問 合 せ：南紀熊野体験博実行委員会 和歌山 ☎(0734) 41-2070
田辺 ☎(0739) 81-2190 那智勝浦 ☎(0735) 52-9190
Eメール：kuma-ta@mb.aikis.or.jp
ホームページ：http://www.aikis.or.jp/kumahaku/

リゾート体験イベント

リゾート体験イベントは、南紀熊野ならではの体験や地元の人々とのふれあいをとおして、こころの故郷に出会えるイベントです。南紀熊野の海、山、川で心をみたま体験をしてみませんか。
リゾート体験イベントには、先月号でお知らせしたほかにも下記のイベントがあります。各イベントは、**すべて事前予約制で、有料**です。
予約、お問い合わせや資料の請求は、南紀熊野体験博リゾート体験イベント予約センターまでお願いします。(受付時間：午前10時～午後5時)
●田辺 ☎ (0739) 25-5666 ● FAX. (0739) 25-1013 ● インターネット情報 <http://www.aikis.or.jp/kumahaku/>

リゾート体験イベント一覧

熊野自然体験ランド 海、山、川をフィールドに子どもから大人まで南紀熊野の自然を体験。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
芋掘りとく木工・カヌー・ たらい下り・田舎料理（選択）	8月	1泊2日	いもほり体験。富里温泉。 木工、カヌー、タライ下り、田舎料理の各体験を選択。
田舎料理体験と百間山ハイキング	6月	1泊2日	シンボルパーク。田舎料理体験。百間山溪谷ハイキング。
昆虫採取と植物観察	7月	1泊2日	植物観察教室、カブト虫・クワガタ虫等の 昆虫採集、木工。石ころアート体験。
日置川ファミリーアスロン&キャンプ大会	4、5、7、8月	1泊2日	キャンプ体験。ファミリーアスロン大会 (トレッキング、マウンテンバイク、カヌー)。
日置川鮎つかみどりと鮎料理昼食会	7月	日帰り	鮎つかみ大会。鮎料理。
日置川鮎つかみどりと海水浴	7、8月	1泊2日	鮎つかみ大会。鮎料理。シンボルパーク。
料理工房とカヌー体験	7、8、9月	1泊2日	ソーセージ料理教室。カヌー体験。
イノブータン王国「山の教室」	7、8月	1泊2日	琴の滝荘周辺で自然散策と森林浴。 昆虫採集又は星の観察会。川遊び。
本州最南端 串本海の学校	7、8月	1泊2日	貝の採集教室。 串本海中公園で水族館見学や磯の生物観察会。
串本黒潮体験学校(トビウオすくいとり)	7～9月	1泊2日	トビウオすくいとり体験。
イルカタッチング&太地ウォーキング	5月	1泊2日	太地ウォーキング。 くじらの置物づくり体験。イルカタッチング。
ドルフィンスイムと太地のくじら浜公園	7、8月	1泊2日	イルカタッチング、ドルフィンスイム。 くじらの博物館、熱帯植物園見学。
夏・満喫ツアーin太地	7、8月	1泊2日	磯での体験学習（ハゼ釣り、生物観察）。 星座の観察。キャンプ体験。
ホエールウォッチング	5～9月	1泊2日	ホエールウォッチング。
熊野KOZAキャンプ&無人島体験	8月	2泊3日	カヌー教室。九龍島無人島体験（海水浴、島 内散策、磯遊び）。重畳山ハイキング。
清流ふれあい「滝の拝スクール」	7、8月	2泊3日	休校グラウンドでキャンプ。 学校周辺散策。沢下り。星空観察。藍染め体験。
森と柚子の里「平井スクール」	7月	2泊3日	休校校舎でキャンプ。林業体験。 備長炭窯出し。星空観察。ゆず加工品づくり。
伝馬船での瀬峡めぐりとハイキング	5～7月	1泊2日	伝馬船で瀬峡めぐり。瀬峡原生林ハイキング。川遊び。
熊野自然学習	8月	2泊3日	魚探りとその調理体験、ヤマネの観察、 滝めぐり、たんぼ水族館で泥遊び。
グリーンツーリズムってなあに 元気もりもり森体験	5、6月	1泊2日	林業体験、 熊野古道ウォーク（伏拝王子～熊野本宮大社）。
	5、6月	2泊3日	林業体験、 熊野古道ウォーク（伏拝王子～熊野本宮大社）。
アドベンチャー北山村	6、7月	1泊2日	幻の滝（立合川大滝）探訪。 ラフティング体験（オトノリ～小松）。

熊野ウォーク

熊野古道や滝めぐりなど南紀熊野を歩いて自然を満喫。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
柚小屋に泊まる熊野古道満喫ウォーク	5～9月	1泊2日	熊野古道ウォーク(滝尻王子～高原～近露王子)。 柚小屋。上小野温泉。
熊野古道口熊野探訪ウォーク	5月	日帰り	熊野古道ウォーク(八上王子～一ノ瀬王子)。
～黒潮ロマンを語る～“海の熊野”物語	5月	1泊2日	徐福公園。熊野速玉大社。 熊野古道ウォーク（三輪崎～王子が浜）。
平安衣装であるく大門坂	5、6、9月	1泊2日	平安衣装に着替えて大門坂ウォーク。熊野三山めぐり。
那智山修験滝めぐり那智の滝源流を探る	7、8月	2泊3日	那智の滝、二の滝、三の滝、文蔵の滝など那智山修験滝めぐり。
熊野の獺師と歩く熊野原生林と熊野古道	5、7、8月	1泊2日	田長谷原生林（モミ、ツガ）と 本州最南端ブナ林ハイキング。熊野古道小雲取越。
熊野幻の滝づくし	7、9月	1泊2日	滝めぐり北谷コース（比丘尼滝、猿手滝他）、 本谷コース（宝竜滝、白滝他）

南紀採る採る収穫体験

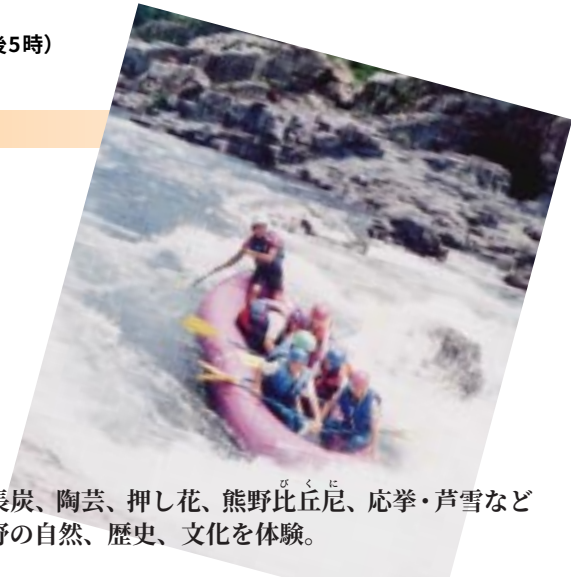
南紀熊野の海の幸・山の幸を収穫体験。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
梅もぎとジュースづくりとシンボルパーク	6月	日帰り	梅農園で梅もぎ体験。梅ジュースづくり体験。 紀州備長炭記念公園、シンボルパーク。
南紀の切り花収穫体験と天神崎	5、6月	日帰り	切り花（スターチス）収穫体験。 天神崎、シンボルパーク。
南紀の切り花収穫体験と備長炭公園	5、6月	日帰り	切り花（スターチス）収穫体験。 紀州備長炭記念公園、シンボルパーク。
白浜椿のお魚さんとふれあいツアー	7月	1泊2日	エビとカニの水族館。椿ふれあいフェスティバル見学。 シンボルパーク。
鮎の里の藍染め体験	6～9月	日帰り	藍染め体験。備長炭炭焼きの見学。天然鮎料理。
豊年満作お祝いツアー	9月	1泊2日	いもほり・焼きいも体験、 熊野古道ウォーク（湯の峰王子～熊野本宮大社）。

ご注意 1.都合により内容等を変更する場合があります。2.実施日などくわしくは、南紀熊野体験博リゾート体験イベント予約センターにお問い合わせください。



熊野文化講座



紀州備長炭、陶芸、押し花、熊野比丘尼、応挙・芦雪など
南紀熊野の自然、歴史、文化を体験。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
紀州備長炭細工体験	8、9月	日帰り	紀州備長炭を使った枕又は風鈴作り体験。 炭琴製作の見学と炭琴体験。
白浜ミニ歴史探訪	5～7月	1泊2日	草堂寺。日神社。安久川古墳。 白浜散策（熊野三所神社～本覚寺）。
熊野古道の伝説と古代食 山賊料理体験	5～7月	1泊2日	近露周辺の熊野古道散策。語り部の伝説語り。 山賊料理。熊野古道料理教室。
古道ウォークとホテル鑑賞と陶芸教室	5、6月	1泊2日	古道ウォーク。富里温泉。ホテルの乱舞。 陶芸教室。備長炭炭焼き窯。
デラックスリゾートホテルに 泊まる南紀花と押し花体験	6、7、9月	1泊2日	白浜空港跡地花畑。押し花体験。 花と王子社探訪。熊野古道ウォーク。
地元写真家の案内する熊野撮影紀行（5月コース）	5月	1泊2日	大門坂ウォーク。橋杭岩の夜明け等の撮影体験。
あなたは熊野で蘇る 「日本一の“熊野比丘尼”」体験ツアー	5、7、8、9月	1泊2日	「熊野比丘尼の絵解き」。那智参詣曼荼羅ウォーク。 熊野比丘尼の由緒を学ぶ。
熊野修行道場をめぐる “熊野山伏”体験ツアー	5、9月	2泊3日	高田から鳥帽子山、那智山に至る山伏の 道を踏破する熊野山伏体験。
補陀落渡海（平維盛）物語	5月	1泊2日	補陀落渡海の史跡と平維盛伝承の地を訪ね、 浄土の入り口熊野を体験。
シャル・ウィ・ダンス イン くまの	9月	1泊2日	ダンス交流会。
地元写真家の案内する熊野撮影紀行（7月コース）	7月	2泊3日	那智の火祭、橋杭岩の夜明け、大島金剛等の撮影体験。
地元写真家の案内する熊野撮影紀行（9月コース）	9月	1泊2日	大門坂平安衣装、熊野古道小雲取の夕日、 熊野の滝等の撮影体験。
街道をゆく 司馬遼太郎	9月	1泊2日	一枚岩と川舟体験。古座川名所ウォーク。
鮎の火振り漁編			鮎の火振り漁見学。
地元写真家の案内する熊野撮影紀行（6月コース）	6月	1泊2日	瀬峡、北山伐下り、四の川のホテル等の撮影体験。

南紀スポーツアクティビティ

ダイビング、カヌー、ラフティング、フィッシングなど
南紀熊野でスポーツ体験。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
水上オートバイ体験	5、6、9月	1泊2日	インストラクターによる模範演技。 水上オートバイで白浜周辺の観光名所周遊。
熊野の溪流でアマゴ釣り体験	4～9月	1泊2日	初心者、親子を対象としたアマゴ釣り体験教室。
熊野の溪流であゆ釣り体験	5～9月	1泊2日	初心者、親子を対象とした鮎釣り体験教室。
マリンスポーツ体験&味覚体験	5～9月	1泊2日	シーカヤック体験。体験ダイビング。 枯木灘海の幸味覚体験。
枯木灘船釣り&味覚体験	6月	1泊2日	枯木灘海の幸味覚体験。船釣り体験。
初めての人のための串本体験ダイビング & ボードセーリング教室	6～9月	1泊2日	初心者のための体験ダイビング教室。 ボードセーリング体験。
ラストサマー カヌーウィーク	8、9月	1泊2日	初心者対象のカヌースクール。
奥熊野鮎友釣り大会	6月	1泊2日	鮎釣り大会。
北山村ラフティング満喫	6～8月	1泊2日	ラフティング体験（オトノリ～小松）。 森林浴ハイキング。

クマノセラピー

いやす、みたま、よみがえる。こころのゆとりと安らぎを提案。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
熊野の名水と梅の備長炭	5、7月	1泊2日	梅干し体験。救馬溪観音のお滝。 富田の瑠璃光薬師霊泉。野中の清水。
熊野三山と七薬師	6、9月	2泊3日	熊野三山と周辺七薬師めぐり。
秘境古座川湯の花温泉 熊野療法	8、9月	2泊3日	古座川荘周辺をのんびりと散策。

南紀熊野まるごと体験

体験しながら南紀熊野を周遊。

イベント名	実施時期	日程	体験概要
南紀熊野体験博と熊野三山、 高野山の旅	6、9月	2泊3日	熊野古道大門坂ウォーク。 熊野三山めぐり。龍神温泉。高野山。
那智の滝と熊野三山めぐり	5、8、9月	1泊2日	熊野古道ウォーク（牛馬童子～近露、大門坂）。 熊野三山めぐり。

県職員（一般、警察、教育） の給与等の現状

くわしくは県庁人事課へ

1 人件費の状況（普通会計決算）（単位：千円）

区 分	住民基本台帳人口 10年3月31日現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B／A	（参考） 8年度の人件費率
9年度	1,095,626人	588,347,001	2,120,850	181,775,837	30.9%	30.1%

（注）人件費は、一般職の職員の給与、退職手当、共済費のほか、特別職の職員の給与及び報酬等の普通会計に属する部分について集計したものです。

2 職員給与費の状況（普通会計予算）（単位：千円）

区 分	職員数 A	給 与 費				1人当たり 給与費(B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
10年度	18,611人	84,642,067	16,026,338	41,358,111	142,026,516	7,631

（注）職員数及び給与費は、平成10年度当初予算に計上されたもののうち、一般職の職員の普通会計に属する部分について集計したものです。

3 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成10年4月1日現在）

区 分	和 歌 山 県		国	
	平均給料月額(円)	平均年齢(歳)	平均給料月額(円)	平均年齢(歳)
一般行政職	349,049	40.8	315,850	39.3
警察職	373,604	42.1	335,090	40.6
高等学校教育職	409,987	43.7	387,652	41.3
小中学校教育職	398,875	42.1	359,845	39.3
技能労務職	343,476	46.8	283,812	47.8

4 職員の初任給の状況（平成10年4月1日現在）（単位：円）

区 分	和歌山県			国	
	決定初任給	採用2年後	初任給	採用2年後	
一般行政職	I 種 (大卒程度)	174,200	194,400	I 種 184,200	202,900
	II 種 (短卒程度)	151,600	174,200	II 種 174,200	188,500
	III 種 (高卒程度)	141,700	157,500	151,600	163,600
				141,700	151,600
警察職	大学卒	189,800	214,700	189,800	214,700
	高校卒	160,000	181,100	160,000	181,100
高等学校教育職	大学卒	195,100	217,100	195,100	209,500
小中学校教育職	大学卒	195,100	217,100	195,100	209,500

5 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の状況

(平成10年4月1日現在)(単位:円)

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	274,579	326,540	384,963
	高校卒	232,136	274,759	324,139
警察職	大学卒	296,340	341,275	391,419
	高校卒	252,989	297,361	352,738
高等学校教育職	大学卒	322,694	369,171	417,541
小中学校教育職	大学卒	329,413	367,508	414,749
技能労務職	高校卒	213,885	255,472	299,133

6 一般行政職の級別職員数の状況（平成10年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数 (人)	構成比 (%)	参 考	
				1年前	5年前
11級	部長	25	0.5	0.5	0.3
10級	次長・振興局長	40	0.9	0.8	0.5
9級	参事・課長	119	2.6	2.7	2.0
8級	課長・副課長・主幹	1,129	24.7	22.9	23.1
7級	課長補佐	842	18.4	19.1	18.5
6級	課長補佐・主査	533	11.6	11.1	9.8
5級	主査	298	6.5	6.6	6.3
4級	主査・主事・技師	931	20.3	20.8	21.8
3級	主事・技師	266	5.8	5.7	6.9
2級	主事・技師	337	7.4	8.0	7.4
1級	主事・技師	61	1.3	1.8	3.4
計		4,581	100.0	100.0	100.0

7 職員手当の状況

(1) 期末・勤怠手当	民間のボーナスに相当するもので、国と同じ支給割合です。			
区 分	6月期	12月期	3月期	計
期末手当	1.6月分	1.9月分	0.55月分	4.05月分
勤怠手当	0.6月分	0.6月分	—	1.2 月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置				有

(2) 退職手当
退職時の給料月額に勤続年数に応じた支給率を乗じて支給されています。

区 分		和 歌 山 県		国
支 給 額		自己都合（月分）	勤奨・定年（月分）	同じ
	勤続20年	21.0	28.875	
	勤続25年	33.75	44.55	
	勤続35年	47.5	62.7	
	最高支給限度額	60.0	62.7	
その他加算措置		定年前早期退職特例措置（2％～20％加算）		同じ
退職時特別昇給		1～2号給		1号俸
1人当たり平均		1,543千円	29,867千円	－

(3) 調整手当（平成10年4月1日現在）
民間賃金、生計費等が高い地域に勤務する職員や採用困難な医師・歯科医師に対して支給される手当です。

支給対象地域	甲地		乙地	その他	医師・歯科医師
	東京都特別区	大阪市	和歌山市	和歌山市以外の県内	—
支給率（％）	12	10	3	1.5	10
支給対象職員数（人）	81	80	8,889	10,049	26
国の制度（支給率）（％）	12	10	3	—	10
支給対象職員1人当たり平均 支給年額（9年度決算）（円）	109,860円				

(4) 特殊勤務手当
著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務等に従事する職員に対して支給される手当です。

区 分	全 職 種
職員全体に占める手当支給職員の割合	53.2%
支給対象職員1人当たり平均支給年額	126,239円
手当の種類（手当数）	68
代表的 な手当 の名称	支給額の多い手当 へき地手当、教員特殊業務手当、病院看護業務等 手当、刑事手当、教育業務連絡指導手当
	多くの職員に支給 されている手当 教員特殊業務手当、病院看護業務等手当、教育業務 連絡指導手当、夜間特殊業務手当、へき地手当

(5) 時間外勤務手当

平成8年度	支 給 総 額	3,228,864千円
	職員1人当たり平均支給年額	401千円
平成9年度	支 給 総 額	3,450,110千円
	職員1人当たり平均支給年額	428千円

(6) 扶養手当
民間の家族手当に相当するもので、国と同じ制度です。

区 分	配偶者	配偶者以外の扶 養親族2人まで	配偶者がいない職員の 扶養親族のうち1人	その他の 扶養親族	満16歳から 満22歳までの子
支給額	16,000円	5,500円	11,000円	2,000円	5,000円加算

(7) 住居手当

支 給 要 件	和 歌 山 県	国
住居を借り受け月額12,000円を超える 家賃を支払っている職員（借家）	借家 最高27,000円	借家 最高27,000円
自宅を所有している職員（自宅）	自宅 4,600円	自宅 2,500円 5年経過後、1,000円

(8) 通勤手当

支 給 要 件	和 歌 山 県	国
通勤距離が片道2km 以上で、交通機関を 利用し或いは交通用 具を使用して通勤し ている職員	交通機関 全額支給限度額50,000円 最高支給限度額 無 (50,000円との差額1/2加算) 交通用具（二輪） 限度額20,900円 (四輪) 限度額40,100円	交通機関 全額支給限度額45,000円 最高支給限度額50,000円 交通用具（二輪） 限度額20,900円 (四輪) 限度額20,900円

8 特別職の報酬等の状況（平成10年4月1日現在）

区 分	報酬等（円）	区 分	報酬等（円）
知 事	1,290,000	議 長	1,010,000
副知事	1,010,000	副議長	860,000
出納長	860,000	議 員	820,000
期末手当	6月期1.6月分 12月期1.9月分 3月期0.55月分 計4.05月分		

9 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分		職 員 数		増減数	増 減 理 由 等
部 門		平成9年	平成10年		
一 般 行 政 部 門	議 会	45	43	△ 2	組織の改編・運営方法の見直し等
	総務企画	840	858	18	(1)主な増員理由
	税 務	174	173	△ 1	南紀熊野体験博推進事業の充実
	民 生	390	381	△ 9	介護保険準備室の設置
	衛 生	498	490	△ 8	金融危機対策
	労 働	79	74	△ 5	(2)主な減員理由
	農林水産	1,059	1,059	0	医大移転事業一部終了
	商 工	212	213	1	土地開発公社等への派遣職員の減員
	土 木	947	941	△ 6	都市公園事務所の廃止
小 計		4,244	4,232	△ 12	
特 別 行 政 部 門	教 育	11,285	11,230	△ 55	児童生徒数減少による教員の減等
	警 察	2,302	2,324	22	法令基準の充足等
	小 計	13,587	13,554	△ 33	
普 通 会 計		17,831	17,786	△ 45	
公 営 企 業 等	病 院	1,136	1,197	61	医大移転に伴う看護婦等の計画的増等
	其 他	150	142	△ 8	県印刷所廃止等
	小 計	1,286	1,339	53	
合 計		19,117	19,125	8	

（注）職員数は一般職に属する職員であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時職員を除いている。

10 定員管理計画の数値目標等

(1) 実施期間 平成11年度から平成15年度まで
(2) 定員管理目標
ア 知事部局（県立医科大学を除く。） 約100名削減
イ 教育委員会（教職員） 約500名削減
教職員以外の職員 抑制に努力
ウ 企業局、各種委員会 抑制に努力
警察本部 抑制に努力
(3) 定員管理手法
新規の行政需要に対応しつつ、定員管理目標を達成するため、毎年、各部門の定員の一定数を見直すシーリング方式、事業が終了したものについては、自動的な定員の削減を原則とするサンセット方式などの手法を活用し、県民のライフスタイルの変化、産業構造や就業者構造の推移など社会変化に応じた適正な職員配置を行う。



試験

県立高等学校校定時制・通信制課程
①定時制 紀の川Ⅱ単位制・普通科
(昼・夜、粉河Ⅱ普通科)(夜、青
陵Ⅱ単位制・普通科)(昼・夜、情
報会計科)(夜、和歌山第二工業Ⅱ
機械科、電気科、建築科)(全て夜、
海南Ⅱ普通科)(夜、海南下津分
校Ⅱ普通科)(夜、耐久Ⅱ普通科
(夜、日高Ⅱ普通科)(夜、南紀Ⅱ
単位制・普通科)(夜、南紀周参見

分校Ⅱ普通科(夜、新宮Ⅱ普通科
(夜)②通信制 紀の川Ⅱ普通科、
陵雲Ⅱ普通科、衛生看護科
出願 ①2月23～25日正午②3月1
～31日
学力検査や奨学金制度などくわし
くは各学校、県教育委員会学校教育
課へ
住宅金融公庫融資制度等
県内で建築される、地域木造住宅、

合併処理浄化槽設置住宅、ウッドタ
ウン住宅にはそれぞれ特別加算融資
が適用されます。
公庫ローンでお困りの方は住宅金
融公庫大阪支店返済相談電話云(0
6)6281-9569へ
くわしくは県庁建築課へ
修学資金・就学支度資金(無利子
対象 高校や大学に就学等の母子家
庭等の児童
申込書記布 各県福祉事務所 各市町村
受付 3月24日までに各市町村母子

福祉担当課へ
くわしくは各県福祉事務所(和歌
山市在住者は市役所児童家庭課)へ
コンピュータ西暦2000年
問題対応設備貸与事業
県内中小企業を対象に3月末まで
低利のリース及び割賦販売事業を行
っています。
くわしくは(財)県中小企業振興公社設
備貸与課云(0734)32-3412へ
考えよう 知ろう 語ろう
北方領土

県立医科大学公開講座
日時 2月28日(日)午後1時～
講義「水と神経内科の病氣」
「ご注意!泌尿器科の癌が増えてきている」
申込方法などくわしくは医大総務課講座係
云(0734)41-0710へ

自動車の登録手続きはお早めに
自動車税は4月1日現在の自動車の所有者に課税されます。
3月までに転売や下取りに出された場合、陸運支局で手続きを
しないと、いつまでも課税されます。廃車、移転手続は、和歌
山陸運支局登録部門云(0734)22-2154へお早めに

確定申告は正しくお早めに
平成10年分の所得税、11年
度分の県・市町村民税、個人
事業税の申告期間は2月16日
から3月15日まで。
個人事業者の消費税・地方
消費税の確定申告書提出は3
月31日まで。
また、各税務署では地区申
告相談所を開設しています。
くわしくは各税務署、各振
興局税務課(海草は税務部)、
各市町村税務担当課へ

わかやま北南 NEWS

神秘の熊野が近くなる 特急バス「熊野古道スーパー エクスプレス」誕生!

南紀熊野体験博の開催に先立ち、特急バス「熊野古道スーパーエクスプレス」が、3月21日(予定)、登場します。県の補助により購入した大型バス(国産リムジンバスクラス)で、白浜温泉から本宮温泉を経由し、勝浦温泉まで、乗り換え無しで行けます。

運行回数及び時刻 1日2往復 白浜空港発 10時10分、14時10分
紀伊勝浦駅発 9時10分、14時20分
所要時間 白浜空港 → 本宮大社前 1時間37分
1時間33分 紀伊勝浦駅

主な停留所 白浜空港、白浜バスセンター、白浜駅、田辺シンボルパーク前、高井、高井、ななへち美術館前、本宮大社前、志志、新宮駅、勝浦シンボルパーク前、勝浦駅

くわしくは県庁総合交通政策課 ☎(0734)41-2343へ

味が光る 人情が光る 語が光る 緑が光る (田辺市)



紀州紅



早咲きでポリュームたっぷり
寒小ギクの新品種
「紀州紅」誕生!

県(産地振興センター)と県農協連合会の共同研究により寒小ギクの新品種が誕生しました。名前は「紀州紅」。在来種の一品種「紅」をベースに、名所を交配したもので、「寒小ギク」に比べ25〜40日間花が早く、12月上旬中盤咲きで、便枝が多く、ポリュームのある切り花になります。本県の小気は栽培適地が年々減少傾向にあるので、今後「紀州紅」の普及が進めば、産地の活性化が図られるでしょう。

催し

片美公園 万葉展 ☎(0734)46-5553

企画展「万葉植物水彩画展」 3月31日まで

開催中

画家、三宅征年氏による水彩画。

月に一度入れ替えます。

入館料 大人260円、大学・高校生150円、中・小学生100円

休館日 月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日)

●市民文化会館 ☎(0734)36-1331

第13回 和歌山を巡る会 3月14日 午前11時〜

紀南文化会館 ☎(0739)25-3033

第14回 紀南文化祭 3月14日 入場無料

県立近代美術館 ☎(0734)36-8690

企画展 関西の戦後美術 2月16日〜3月28日

戦後、関西を軸に結ばれた具体美術協会

や志村社などの活動から、現代に至るまでの、

関西の戦後美術50年を振り返ります。

●美術館へ行く 2月9日〜4月11日

休館日 月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日)

●熊野古道センター ☎(0736)82-4029

やさしい川の育て方 2月21日

盆栽の整枝と植え替え 2月28日

草木の健康診断 3月7日

春牛展 3月13〜14日

洋牛の育て方 3月14日



お気軽にどうぞ

○交通事故相談

【常設相談】月〜金曜日(東牟婁振興局は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 2月16日、3月1日 受付 午後1〜2時 ●東牟婁振興局 2月19日、3月5日 受付 午後5時

【巡回相談】●伊都振興局 2月24日 ●西牟婁振興局 3月10日

○県民相談

【常設相談】月〜金曜日 場所 県庁県民相談室、各振興局

【弁護士による相談】2月26日、3月12日 場所 県庁県民相談室 受付 午前9〜11時

【移動相談】●総合文化会館(大塔村) 2月18日 ●農村環境改善センター(川辺町) 3月5日 受付 午後1〜3時

※くわしくは☎(0734)41-2359(交通事故相談)、☎(0734)41-2356(県民相談)へ

うるおいやすらぎのふるさとに 県ふるさと建築景観賞 決定

この賞は、自然環境や地域の景観との調和を重視し、和歌山県の「ふるさと」づくりにふさわしい優れた建築物やまちなみを表彰するものです。今年度は建築物部門で6点が受賞しました。

- 野半の里(かつらぎ町)
- ミューズ 2点 福富 1万円相当額の図書券
- 和歌山市地域農業総合管理センター(和歌山市)
- 美浜町立 松洋中学校(美浜町)(写真賞)
- 和歌山マリナシティ
- ロイヤルバインズホテル(和歌山市)
- 瀬川邸(和歌山市)

いずれも、自然や周辺の景観に調和した優れた建築物で、地域のシンボルとして、道行く人々の心にうるおいをあたえてくれています。



第7回暴力団追放県民・市民大会

立ち向かう みんなの勇気で、暴力団追放

●講演(一組事務所使用禁止のための取組) 弁護士 大塚秀樹氏、市手続課 渡辺氏

●賞状授与 大塚秀樹氏、市手続課 渡辺氏

●特別ゲスト 渡辺氏、夢路氏と、喜味こいし

日時 2月10日(水)午後1時30分

場所 和歌山市民会館

※くわしくは(新)県庁暴力団追放課 へ ☎(0734)41-2211



あなたが名付け親 大島架橋の橋名募集

車庫町「大島」と本津を結ぶ大島架橋が今秋に完成の予定です。この「大島架橋」が、地域の新しいシンボルとなるべく、産業者や観光の振興に大きな役割を果たすことを目指しています。

応募資格 大島架橋に名前を付ける権利を有する方(住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記し、3月31日まで、(須知)に添付していただき、(元)へ何枚か郵送願います。

賞品 1点 賞状及び図書券(3万円相当額の図書券) 2点 図書券(1万円相当額の図書券) 3点 図書券(5000円相当額の図書券)

※、最優秀作品の中から抽選で10名の方にテレホンカードをさしあげます。

※、くわしくは応募先 ☎0734-4110303へ



熊野ワールド 東京に出現 南紀熊野体験博写真展

県外向け和歌山観光情報誌「CaN」の写真を担当するプロカメラマン・森島秀樹氏が、7年間にわたって撮影した、熊野の写真展を開催します。同氏は「CaN」誌面においても、熊野の自然・人・文化を会すところ無く伝え、好評をいただいています。今回、選りすぐりの作品によって、多くの方々に熊野の風光、匂いを感じていただき、会場内に設けた体験博のPRコーナーとともに首都圏の人々を南紀熊野へ誘います。

◆期間 2月20日(土)〜3月20日(土)

◆場所 霞ヶ関ビル1階 GALLERIA(千代田区霞ヶ関)

地下鉄 虎ノ門駅又は霞ヶ関駅下車

※くわしくは県庁広報広聴課 ☎(0734)41-2034へ

